

決算説明資料

(参考資料)

2023年度第3四半期決算概況

2024年2月2日



(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

I.2023年度第3四半期決算

連結業績概要（対前年同期実績）	4
セグメント別売上収益	5
セグメント別コア営業損益	6
コア営業損益分析（セグメント別）	7
連結財政状態計算書	12
連結キャッシュ・フロー	13

（参考資料）

セグメント別売上収益（四半期推移）	19
セグメント別コア営業損益（四半期推移）	20
売上収益分析（セグメント別）	21
主要グループ会社業績動向	24
地域別農薬売上収益	25

II.2023年度予想

2023年度下期 事業環境見通し	15
業績予想修正（対前回予想）	16
セグメント別売上収益・ コア営業損益予想（対前回予想）	17

I . 2023年度第3四半期決算

連結業績概要 (対前年同期実績)

(単位：億円)

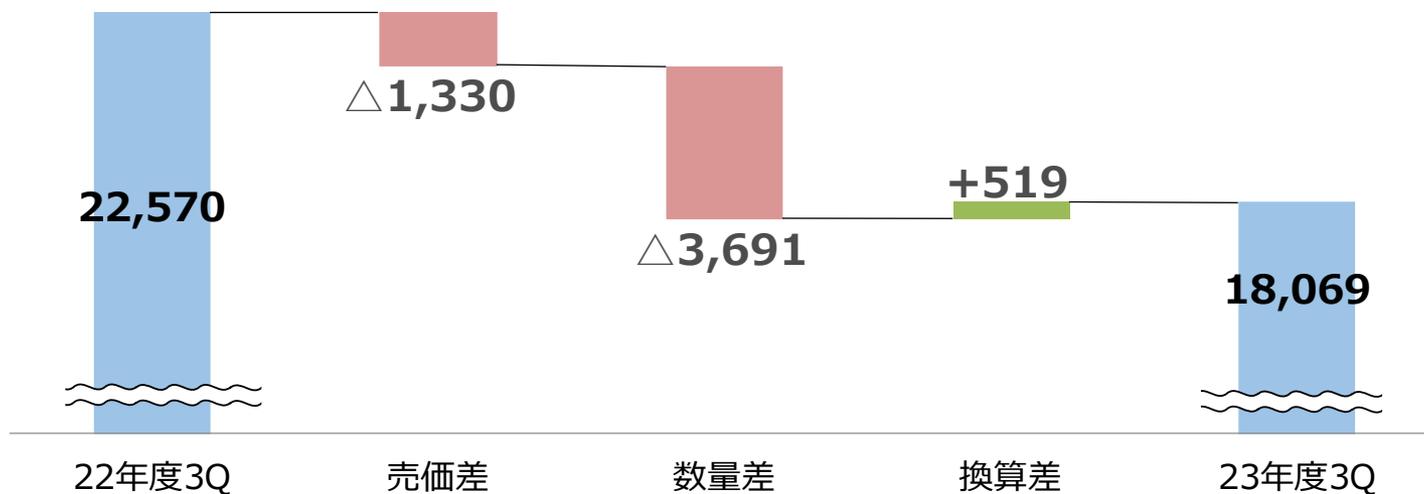
	22年度 3 Q	23年度 3 Q	増減	増減率
売上収益	22,570	18,069	△4,502	△19.9%
コア営業利益 (△は損失)	1,422	△ 1,139	△2,560	-
(うち持分法投資損益)	(128)	(△ 352)	(△480)	-
非経常項目	△707	△ 468	240	-
(うち事業構造改善費用)	(△220)	(△ 256)	(△37)	-
(うち減損損失)	(△564)	(△ 154)	(409)	-
(その他)	(76)	(△ 57)	(△133)	-
営業利益 (△は損失)	714	△ 1,606	△2,321	-
金融損益	233	7	△227	-
(うち為替差損益※デリバティブ損益含む)	(284)	(61)	(△223)	-
税引前四半期利益 (△は損失)	948	△ 1,600	△2,547	-
法人所得税費用	△531	△ 50	481	-
四半期利益 (△は損失)	417	△ 1,649	△2,066	-
非支配持分損益	186	552	366	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (△は損失)	603	△ 1,098	△1,701	-
ROE	4.8%	△ 9.4%		
平均為替レート (円/USD)	136.49	143.33		
ナフサ価格 (円/KL)	80,000	68,400		
海外売上比率	69.4%	68.2%		

セグメント別売上収益

単位:億円

	22年度3Q	23年度3Q	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
エッセンシャルケミカルズ	6,755	5,967	△788	△11.7%	△695	△270	177
エネルギー・機能材料	2,571	2,253	△318	△12.4%	△55	△292	29
情報電子化学	3,386	3,111	△275	△8.1%	△90	△274	89
健康・農業関連事業	4,392	3,670	△722	△16.4%	△460	△427	165
医薬品	4,825	2,564	△2,261	△46.9%	△30	△2,290	59
その他	642	504	△137	△21.4%	0	△137	0
合計	22,570	18,069	△4,502	△19.9%	△1,330	△3,691	519

増減分析 (全社計)

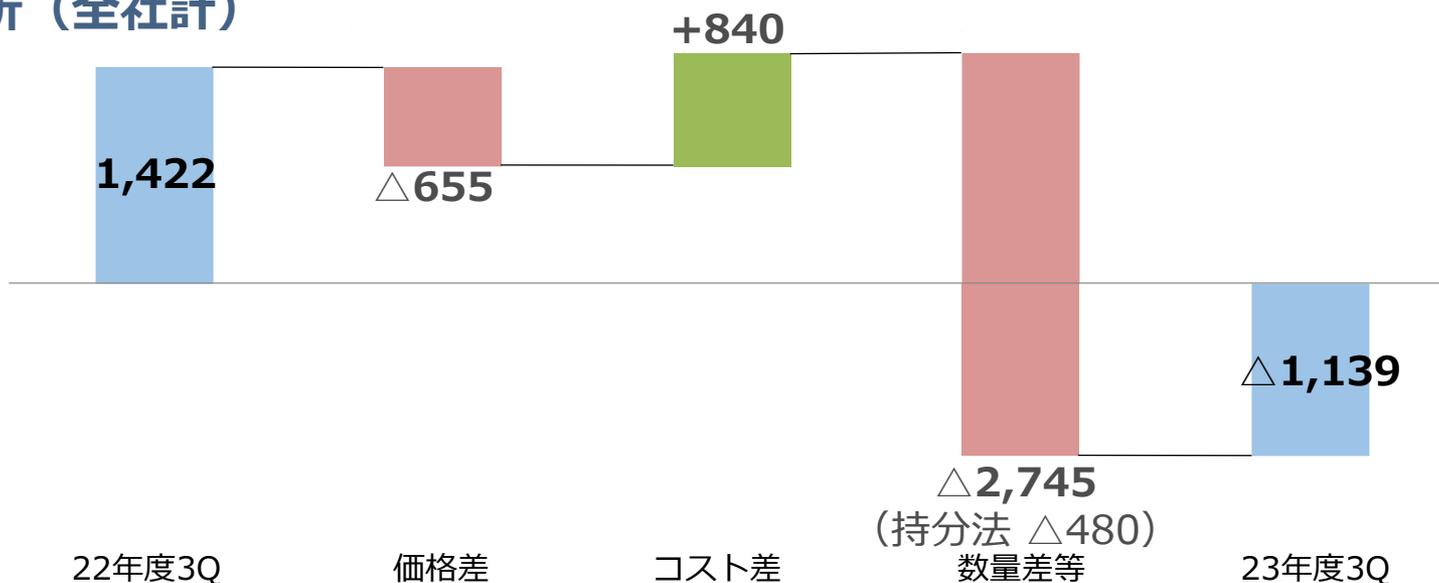


セグメント別コア営業損益

単位:億円

	22年度3Q	23年度3Q	増減	価格差	コスト差	数量差等
エッセンシャルケミカルズ	△20	△620	△600	△80	20	△540
エネルギー・機能材料	169	94	△75	△5	10	△80
情報電子化学	437	368	△69	△90	90	△69
健康・農業関連事業	472	△14	△485	△450	50	△85
医薬品	431	△956	△1,387	△30	670	△2,027
その他 全社費用等	△67	△11	56	0	0	56
合計	1,422	△1,139	△2,560	△655	840	△2,745

増減分析 (全社計)



23年度第3四半期コア営業損益 $\Delta 620$ 億円 (前年同期比 $\Delta 600$ 億円)



価格差

合成樹脂の海外製品市況や プロピレンオキサイド等の製品市況下落に伴い、
 交易条件が悪化

数量差等

ペトロ・ラービグ社の業績悪化に加え、世界的な景気減退に伴う需要の
 低迷により出荷が減少

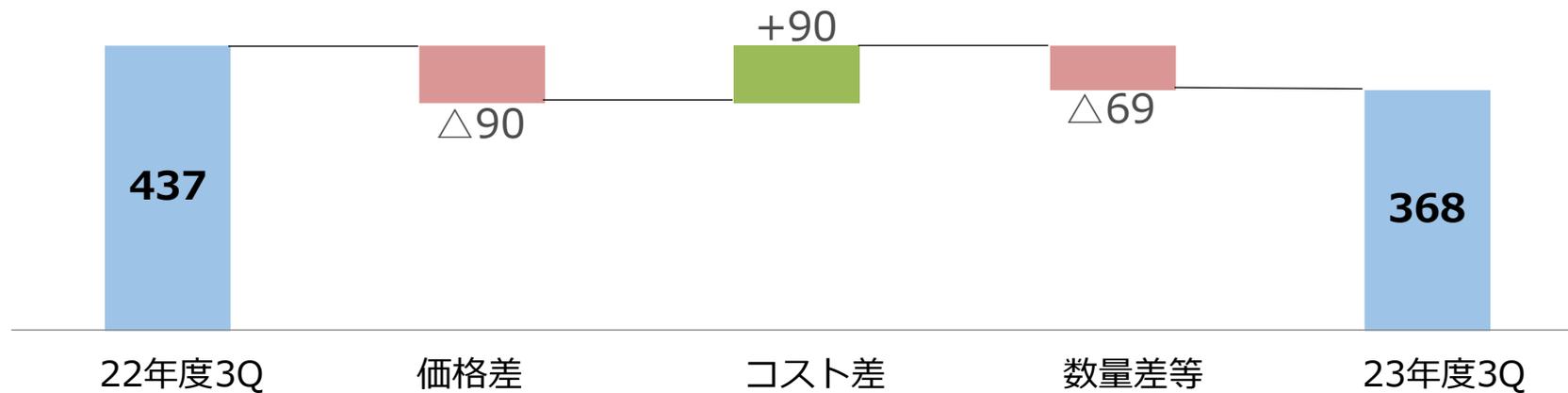
23年度第3四半期コア営業損益 94億円 (前年同期比△75億円)



数量差等

自動車用途を中心にレゾルシン・セパレータ等の出荷が減少

23年度第3四半期コア営業損益 368億円 (前年同期比△69億円)



価格差	ディスプレイ	偏光フィルム売価下落
コスト差	ディスプレイ	償却費負担の軽減等
数量差等	半導体	フォトレジストや高純度ケミカルの出荷減少

23年度第3四半期コア営業損益 $\Delta 14$ 億円 (前年同期比 $\Delta 485$ 億円)



価格差	農薬	南米ジェネリック品の売価下落
	メチオニン	市況の下落により交易条件が悪化
コスト差	メチオニン	償却費負担の軽減
数量差等	農薬	現地流通在庫増加に伴い南米等で出荷が減少

23年度第3四半期コア営業損益 $\Delta 956$ 億円 (前年同期比 $\Delta 1,387$ 億円)



価格差	日本国内における薬価改定の影響により売価が下落
コスト差	北米再編・合理化による固定費削減
数量差等	ラツーダの独占販売期間終了に伴う出荷減

単位:億円

	23.3月末	23.12月末	増減
流動資産	17,629	17,094	△535
現金及び現金同等物	3,058	2,762	△297
営業債権及びその他の債権	6,032	5,691	△341
棚卸資産	7,445	7,565	120
その他	1,094	1,077	△17
非流動資産	24,026	25,102	1,076
有形固定資産	8,294	8,554	261
のれん及び無形資産	6,709	6,948	240
その他	9,024	9,600	576
資産合計	41,655	42,197	541

	23.3月末	23.12月末	増減
負債	26,763	27,674	911
営業債務及びその他の債務	5,159	4,963	△195
有利子負債	14,614	16,658	2,045
その他	6,991	6,052	△939
資本	14,892	14,523	△369
株主資本	9,730	8,747	△983
その他の資本の構成要素	1,982	2,875	894
非支配持分	3,180	2,900	△280
負債及び資本合計	41,655	42,197	541
親会社所有者帰属持分比率	28.1%	27.5%	△ 0.6%
D/E レシオ (倍)	1.0	1.2	0.2

単位:億円

	22年度3Q	23年度3Q	増減
営業キャッシュ・フロー	1,003	△1,350	△2,353
投資キャッシュ・フロー	17	△778	△795
フリー・キャッシュ・フロー	1,020	△2,128	△3,148
財務キャッシュ・フロー	130	1,611	1,481
その他	216	208	△8
現金及び現金同等物の増減	1,366	△308	△1,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,996	2,762	△2,234

II. 2023年度予想

経済情勢

- インフレ率の低下により世界経済は持ちこたえているが、中東情勢緊迫化や中国経済低迷のリスクから、依然として低成長の見通し
- 当社は一部事業で、当社固有の要因により情勢以上に厳しい事業環境を見込む

主要事業環境（前回予想比）

前回（11月） 今回

石化・原料市況	末端需要の減少と、石化市況の歴史的な低マージンが継続		▶	
自動車	自動車生産台数は回復基調も、一部の関連部材はサプライチェーン上の在庫調整に遅れあり		▶	
ディスプレイ	TV：引き続き末端需要は低迷しており、厳しい競争環境が続く モバイル：末端需要は低調も、OLED化の進展で関連部材は堅調		▶	
半導体	半導体需要の減少は下げ止まりも、本格的な回復は見られず		▶	
農薬	海外農薬の流通在庫はなお高い水準。4Qの北半球需要期に期待		▶	
メチオニン	メチオニン市況は最悪期を脱し、緩やかに上昇		▶	
医薬品	基幹3製品の販売は計画未達。引き続き拡販に取り組む		▶	

業績予想修正（対前回予想）

16

単位:億円

	2023年度 11月予想	2023年度 今回予想	増減	増減率
売上収益	27,000	24,800	△2,200	△8.1%
コア営業利益（△は損失）	△700	△1,450	△750	-
（非経常項目）	(△550)	(△1,400)	(△850)	-
営業利益（△は損失）	△1,250	△2,850	△1,600	-
親会社の所有者に帰属する当期利益（△は損失）	△950	△2,450	△1,500	-
ROE	△8.1%	△22.2%		
平均為替レート（円/USD）	143.03 (下期145.00)	143.75 (1-3月 145.00)		
ナフサ価格（円/KL）	70,000 (下期 74,000)	69,000 (1-3月 70,000)		
配当金	中間	6円	6円	
	期末	6円	3円	
	年間	12円	9円	

セグメント別売上収益・コア営業損益予想（対前回予想）

17

単位:億円

	売上収益			コア営業損益		
	2023年度 11月予想	2023年度 今回予想	増減	2023年度 11月予想	2023年度 今回予想	増減
エッセンシャルケミカルズ	8,500	7,900	△600	△750	△870	△120
エネルギー・機能材料	3,200	3,000	△200	20	50	30
情報電子化学	4,100	4,000	△100	330	380	50
健康・農業関連事業	6,100	5,700	△400	400	400	-
医薬品	4,200	3,500	△700	△690	△1,310	△620
その他・全社費用等	900	700	△200	△10	△100	△90
合計	27,000	24,800	△2,200	△700	△1,450	△750

(参考資料)

セグメント別売上収益 (四半期推移)

19

単位:億円

	22年度				23年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q(予想)	年間予想
エッセンシャルケミカルズ	2,386	2,287	2,082	1,774	1,924	1,979	2,064	1,933	7,900
エネルギー・機能材料	864	871	836	853	734	765	754	747	3,000
情報電子化学	1,147	1,075	1,164	926	945	1,092	1,074	889	4,000
健康・農業関連事業	1,526	1,413	1,453	1,592	1,027	1,385	1,258	2,030	5,700
医薬品	1,677	1,667	1,480	1,024	830	839	895	936	3,500
その他	142	230	269	213	173	176	156	196	700
合計	7,741	7,544	7,285	6,382	5,631	6,237	6,200	6,731	24,800

セグメント別コア営業損益 (四半期推移)

20

単位:億円

	22年度				23年度				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4Q(予想)	年間予想
エッセンシャルケミカルズ	100	133	△253	△322	△210	△234	△176	△250	△870
エネルギー・機能材料	66	68	34	△16	30	35	29	△44	50
情報電子化学	158	107	173	39	67	112	190	12	380
健康・農業関連事業	219	144	109	101	△70	△5	62	414	400
医薬品	141	111	179	△269	△333	△322	△301	△354	△1,310
その他 全社費用等	△43	△48	23	△26	△19	△16	24	△89	△100
合計	641	515	265	△494	△536	△431	△172	△311	△1,450

売上収益増減分析 (対前年同期実績)

エッセンシャルケミカルズセグメント



5,967億円 (前年同期比△788億円)

売価差

△695億円

□ 市況下落

数量差

△270億円

□ 需要低迷による出荷減 (MMA等)

換算差

+177億円

エネルギー・機能材料セグメント



2,253億円 (前年同期比△318億円)

売価差

△55億円

□ 市況下落等

数量差

△292億円

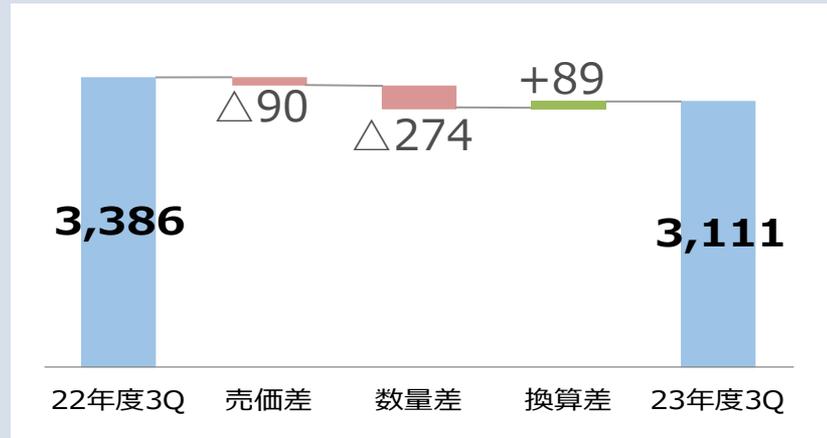
□ 自動車用途等出荷減
(レゾルシン・合成ゴム・電池部材等)

換算差

+29億円

売上収益増減分析 (対前年同期実績)

情報電子化学セグメント



3,111億円 (前年同期比△275億円)

売価差

△90億円

- 偏光フィルム売価下落

数量差

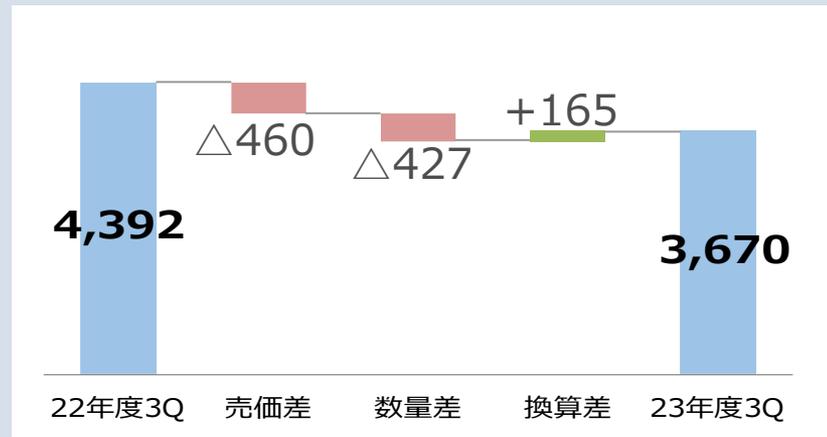
△274億円

- 半導体プロセス材料出荷減少
- ディスプレイ関連材料出荷減少

換算差

+89億円

健康・農業関連事業セグメント



3,670億円 (前年同期比△722億円)

売価差

△460億円

- 南米農薬(ジェネリック品)売価下落
- メチオニン市況下落

数量差

△427億円

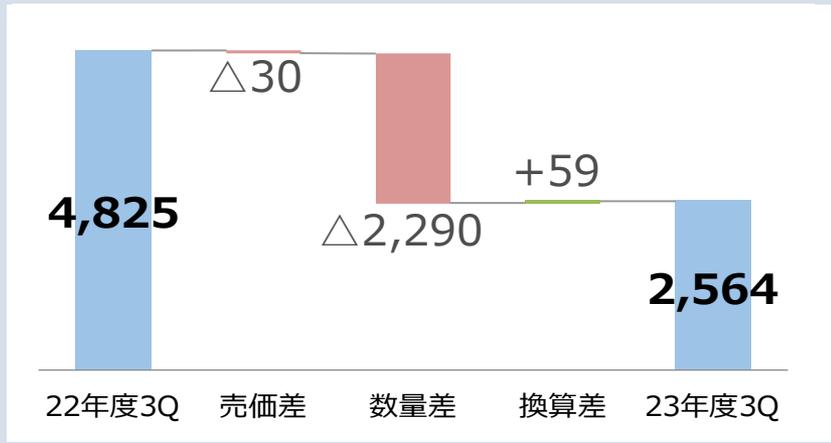
- 南米等における農薬出荷減少

換算差

+165億円

医薬品セグメント

2,564億円 (前年同期比△2,261億円)



売価差

△30億円 □ 国内薬価改定

数量差

△2,290億円 □ ラツーダ独占販売期間終了

換算差

+59億円

外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	22年度3Q	23年度3Q	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	858	604	↘ 交易条件悪化
PCS (※) (百万USD)	1,989	1,579	↗ 交易条件改善
ラービグ・リファイニング・アンド・ ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	45,146	34,310	↘ 石油精製マージンの悪化 石油化学品交易条件悪化
東友ファインケム (億KRW)	16,513	14,854	→ ほぼ横ばい
ベラント ノースアメリカ (連結ベース) (百万USD)	562	587	↘ 経費の計画的な執行による減益

(※) 旧ペトロケミカル・コーポレーション・オブ・シンガポール。2023年10月1日付でPCSへ社名変更。

地域別農薬売上収益

25

単位:億円

	22年度3Q	23年度3Q	増減	主な差異要因
日本	502	429	△ 73	肥料の流通在庫過多による出荷数量減少
北米	483	526	43	邦貨換算差
中南米	1,589	1,031	△ 558	流通在庫の高止まりや ブラジルでの天候不順による出荷数量減少
アジア (インド含む)	526	454	△ 72	インドでのジェネリック品参入や 天候影響(モンスーン遅れ)による出荷数量減少
欧州その他	181	176	△ 5	
合計	3,281	2,616	△ 665	